

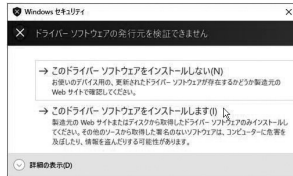
スタートアップガイド

Windows 10・11 搭載パソコンへのG-Trace.net2のインストール手順

G-MEN GP20 / GP100 対応

G-Trace.net2のインストールは、必ず本書の手順に従って行ってください。本書以外の手順では正常にインストールできない場合があります。

- 注意1.全てのWindows 10(32bit/64bit)搭載のパソコンの動作は保証できません。
- 注意2.ネットワーク接続されセキュリティ管理されたパソコンへはインストール出来ない場合があります。社内ネットワーク管理者にご相談ください。
- 注意3.Windows 10・11はセキュリティが厳しく下記の「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」の警告が表示される場合があります。「このドライバーソフトウェアをインストールします」を選択できない場合はG-Trace.net2 はご使用になれません。
- 注意4.G-Trace.net2をご使用いただくには、Microsoft.NET Framework3.5が必要となります。
- 注意5.MAP表示にはインターネット接続が必須となります。G-MENは国内仕様のため、MAP表示は国内のみとなります。



2024.05

アプリケーションをインストールする

※注意!インストールは、必ず本機とパソコンを接続する前に行ってください。

1 CD-ROM ドライブに「G-Trace.net2」を入れる

2 インストールメニューの実行



G-Trace.net2 Install Application の画面が表示されたら「インストール」を選択します。

3 G-Trace.net2 のインストール



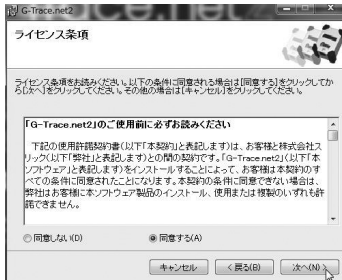
しばらく時間がかかります。

4 「G-Trace.net2」セットアップウィザード



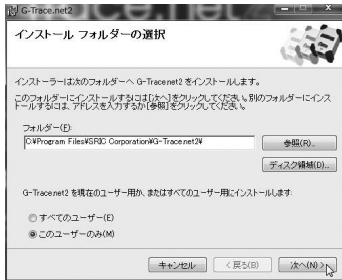
「次へ (N)」を選択します。

5 ライセンス条項



ライセンス条項の内容を確認し、同意いただける場合には「同意する」を選択し、「次へ (N)」を選択します。

6 インストール先のフォルダを選択



G-Trace.net2 をインストールするフォルダを選択します。
G-Trace.net2 を使用するユーザーを選択します。
「次へ (N)」を選択します。

7 インストールオプション

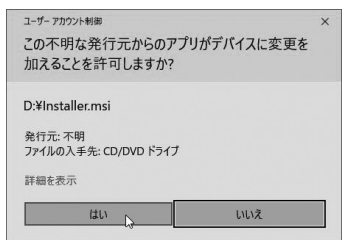


「次へ (N)」を選択します。

8 インストールの確認



「次へ (N)」を選択します。



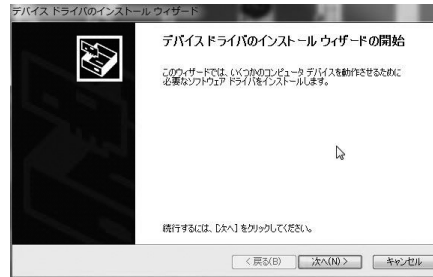
「ユーザーアカウント制御」が表示されます。「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」
「はい (Y)」を選択します。

9 「G-Trace.net2」をインストール



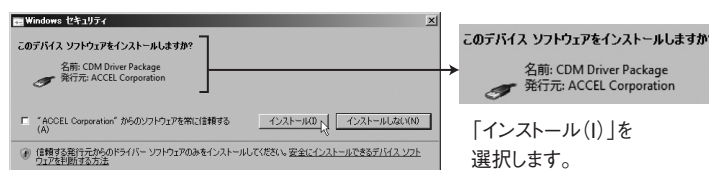
「G-Trace.net2」をインストールしています。

10 デバイスドライバーのインストールウィザードの開始



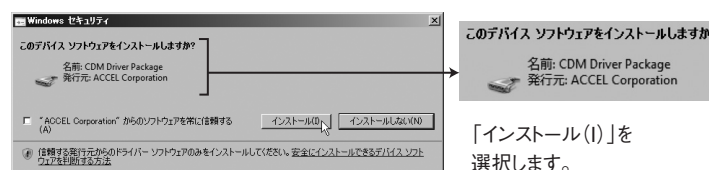
「次へ (N)」を選択します。

11 デバイスドライバーのインストールウィザード



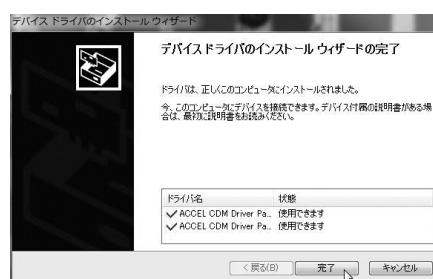
「インストール (I)」を選択します。

12 デバイスドライバーのインストールウィザード



「インストール (I)」を選択します。

13 デバイスドライバーのインストールウィザードの完了



「完了」を選択します。

14 インストールの完了



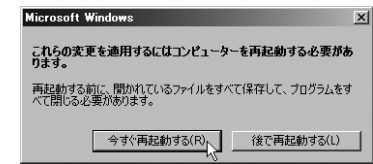
「閉じる」を選択します。

15 インストール画面を閉じる



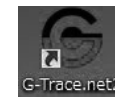
画面右上の「×」を選択します。

16 コンピューターの再起動



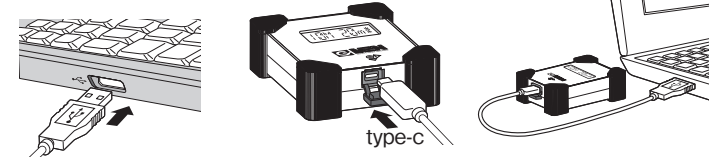
「今すぐ再起動する (R)」を選択します。

17 ショートカットアイコンの確認



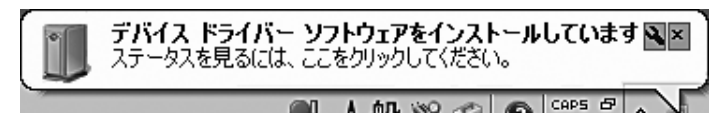
デスクトップ画面上に「G-Trace.net2」のショートカットアイコンが自動的に作成されます。

18 パソコンと本体を接続します。 ※USB2.0 を推奨

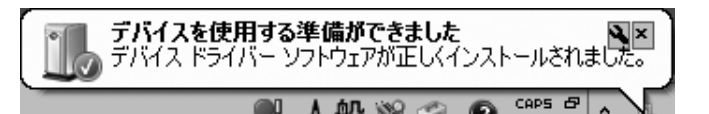


本体のUSBコネクタとパソコンのUSBポートを付属のUSBケーブルで接続します。

19 デバイスドライバーの自動インストール



デスクトップ画面右下にポップアップが表示されます。



正しくインストールされてから使用できます。

注意!

※デバイスドライバーソフトウェアのインストールは「USB Serial Port (COM※)」と「USB Serial Converter」がインストールされます。
※デバイスドライバーソフトウェアのインストールはパソコンの機種によっては時間がかかります。
※インストール途中での中止やUSB ケーブルを抜く行為は、デバイスドライバーが正しくインストールされない為、G-MEN との接続が正常に行えません。

はじめてつかうG-Trace.net2

G-Trace.net2

(G-MEN GP20・GP100対応)

第1章 G-Trace.net2 とG-MEN

- 1 起動と接続
- 2 複数のG-MEN との接続

第2章 G-MENで振動を計測してみよう

- 1 G-MEN GPに計測条件を設定する
- 2 G-MEN GPの計測を開始する
- 3 G-MEN GPに振動を加える
- 4 GPSアンテナを受信しやすい場所に設置する
- 5 G-MEN GPの記録データを取得する
- 6 G-MEN GPの取得データを保存する
- 7 G-MEN GPのレンジ変更と動力加速度変更
- 8 マグネットスタートは

G-Trace.net2 のユーザーズマニュアルは、アプリケーション上のヘルプをご利用いただくようお願いいたします。

ここでは簡単にG-MENの計測をG-Trace.net2からどのように設定するか記載しております。

クリックすると下記画面が表示されます。この画面ではG-MEN GPの計測条件を任意に設定できます。

ここでは出荷時のG-MEN内部に記録されている設定を利用します。画面左下の【G-MEN本体から受信】をクリックしてください。クリックすると下面の計測条件の項目が表示されます。

- GPS [ON]
- 本体番号 [1]
- サンプリング周期 [0.001秒]
- 応答周波数 [100Hz]
- 記録間隔 [2分]
- ハザード (グレーアウト)
- しきい値 [0.0]
- しきい値超検出 [OFF]
- 開始オプション [5]
- 液晶表示オプション [00]



上記の設定ではG-MEN GPの測定開始を実行すると、開始オプション5でUSBケーブルを抜いてから、5秒後から始動し2分で1データを記録します。内容は記録間隔2分間の中で0.001秒ごとサンプリング計測してそのデータの中でXYZ軸のそれぞれのピークG値を記録し温度・湿度も記録します。記録間隔に近いGPSの即時時間で緯度経度高度の記録もします。1時間計測して30データの記録となります。GPSデータは受信状況により【記録なし】の場合もあります。

条件を変更するには各項目の一覧ボタンまたは各項目の▲▼で数値を指定します。条件設定が完了したら画面右下の【OK】をクリックしてスタートメニュー画面に戻ります。スタートメニュー画面で設定した計測条件が反映されているか確認してください。左半面に設定した数値が表示されています。

計測条件の画面では計測したい内容により色々な設定の組み合わせができます。詳しくはヘルプをご参照ください。

2 G-MEN GPの計測を開始する

スタートメニュー画面より即時測定と予約測定が選択できます。

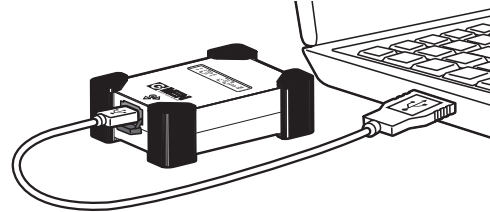
- 即時測定の場合、スタートメニューの右図【即時測定】をクリックします。(計測条件は入力済みですか?)



第1章 G-Trace.net2とG-MEN

1 起動と接続

G-Trace.net2の起動とG-MEN との接続



G-MENとの接続は、G-Trace.net2の起動後でも起動前でもどちらでも構いません。

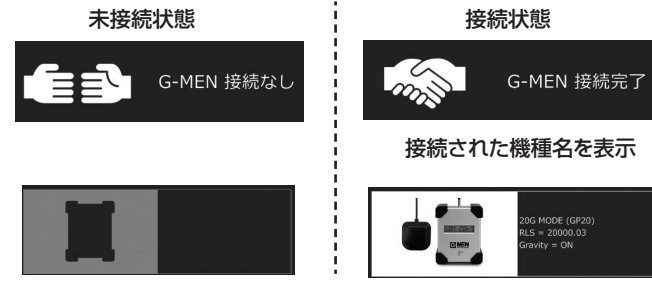
スタートメニューからG-Trace.net2を選択、またはデスクトップ上のショートカットアイコンのクリックにより、G-Trace.net2を起動します。



(スタートメニュー画面)

G-MEN を接続するとG-Trace.net2は現在のG-MEN 接続状態を、スタートメニュー/データ表示画面のどちらにおいても、接続の有無を表示しています。

スタートメニュー画面



データ表示画面



スタートメニュー画面のステータスバーにも同様に表示され機種と接続状態、本体RLS番号が表示されます。G-MEN本体の液晶には【CoMPLETE】と表示されます。G-MENとパソコンの接続確認が出来ない場合、G-MEN本体とUSBケーブルを再度抜き差しする。それでも確認が出来ない場合は、USBドライバのインストールが失敗している可能性があります。

2 複数のG-MENとの接続

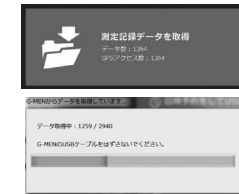
G-Trace.net2は複数のG-MENと同時に接続はできません。複数のUSBポートを持つパソコンにG-MENを複数接続しても1台のパソコンに対し1台のG-MENの認識になります。

4 GPSアンテナを受信しやすい場所に設置する

液晶表示の記録間隔表示で【2M 1mG】⇒【2M 1mR】になればGPSを受信したことになり液晶画面に【36 11 580】緯度 経度 高度 が表示されます。

5 G-MEN GPの記録データを取得する

G-MEN GPとパソコンを再度USBケーブルで接続してください。G-Trace.net2の画面上でG-MENが接続されていることを確認してください。本体液晶には【CoMPLETE】と表示されます。G-MEN GP本体に記録されたデータを取得するためにはG-Trace.net2のスタートメニュー画面の【測定記録データを取得】をクリックします。取得中は以下のように画面中央にインジケータが出ています。



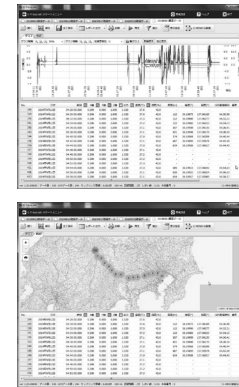
データ画面では地図データが読み込まれるまではインジケータが現れていないので終わるまで他の操作をしないでください。

データの読み取りが終了するとデータ表示画面にデータリストとグラフとMAPが表示されます。(MAP表示は国内のみ)

ステータスバーには今読み取りをしたG-MEN GPの情報が表示されています。(データ数・GPSアクセス数・GPSデータ数・サンプリング周期・応答周波数・記録間隔・しきい値・本体番号)

データリストの日付はスタートした日・記録間隔に準じて表示されていますので確認してください。データ内容は日付・時刻・XYZの3軸・温度・湿度・緯度・経度・高度・GPS取得時刻となります。加速度の初期単位はG値です。加速度単位は【G・m/sec2・GAL】任意に選択できます。データ項目の合力は $\sqrt{(X \times X) + (Y \times Y) + (Z \times Z)}$ です。

*日付は設定したパソコンの時計を認識しますので、パソコンの時計(日時)が間違っていればG-MEN GPの取得された日付データも間違ったものになります。



第2章 G-MEN で振動を計測してみよう

簡単な計測をしてみましょう。第一章でG-Trace.net2とG-MENの接続確認はとれましたか。

計測のながれ

- 1 G-MEN GPに計測条件を設定する。
- 2 G-MEN GPの計測を開始する。
- 3 G-MEN GPに振動を加える。
- 4 GPSアンテナを受信しやすい場所に設置する。
- 5 G-MEN GPの記録データを取得する。
- 6 G-MEN GPの取得データを保存する。



1 G-MEN GPに計測条件を設定する。

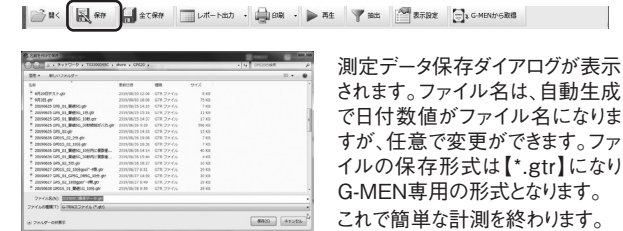
ここでは出荷時の設定を利用します。G-MEN GPを付属USBケーブルでパソコンと接続します。G-MEN GPがパソコンで認識されると G-MEN接続完了と表示されます。

画面左下の【G-MENの設定を変更】をクリックします。

G-MENの設定を変更

6 G-MEN GPの取得データを保存する

メニューより保存を選択します。

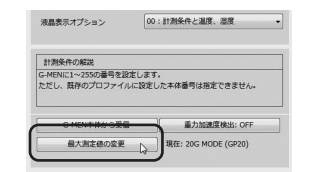


測定データ保存ダイアログが表示されます。ファイル名は、自動生成で日付数値がファイル名になりますが、任意で変更ができます。ファイルの保存形式は【*.gtr】になりG-MEN専用の形式となります。これで簡単な計測を終わります。

7 G-MEN GPのレンジ変更と重力加速度変更

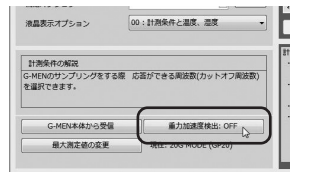
●レンジの変更

GP20は最大測定値20G・10Gの選択が可能です。下図【最大測定値の変更】をクリックして変更します。



●重力加速度検出

GP20の重力加速度検出ON・OFFの選択が可能です。下図【重力加速度検出】をクリックしてON・OFFを選択します。



8 マグネットスタートは



開始オプション1.2を選択した時、付属のマグネットにて開始操作をします。左図G-MEN側面に付属マグネットを当てます。G-MEN内部に磁気センサがあり、磁気センサが反応するまで数秒かかることがあります。反応するとG-MENの液晶表示がWAITMAGからサンプリング周期 記録間隔等の表示に変わります。